

科目名	多民族・多文化共生の未来を探る ーヨーロッパ宗教史を手がかりとしてー			復習用ビデオの録画・配信 ー	開講期間	4月9日 ～ 6月4日			
	英文科目名	Toward a multicultural symbiotic society			モバイル配信授業 ー	開講時間	木曜日 第1講時 8：45 ～ 10：15		
	担当教員	佐藤 竜二			eラーニング ー	開講場所	金沢大学		
受講定員等	単位数 1単位 定員数 100名 特別聴講学生等定員 } 5名 科目等履修生定員 } シティカレッジ聴講生定員 定員超過時の選考方法等 受付順				成績評価の方法	授業には3分の2以上の出席を必要とする。 学期末試験60％，出席状況（コメントペーパーの提出を含む）20％，グループディスカッションへの参加20％			
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				受講料
				教員の指示に従う	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	
科目の内容	【学習目標】グローバル化した社会の中では、「自己」とは異なる文化・歴史・宗教等を背景に持つ「他者」の理解とコミュニケーションが欠かせません。この講義では、「他者」との共生・共栄の在り方をヨーロッパ宗教史を手がかりとして考え、これからの「自己」と「他者」の関係性について理解を深めることを学習目標とする。 1.ガイダンス，概念説明，「他者」とは誰か 2.中世スペインの民族・宗教の共存・共栄 3.1492年の宗教史的意義 4.異端審問とマラーノの歴史 5.スペイン・ポルトガルを追われたユダヤ人（アントワープ編） 6.スペイン・ポルトガルを追われたユダヤ人（アムステルダム編） 7.民族・宗教の共存が生み出した思想史 8.「他者」との共存は可能か，期末試験 授業内では，グループ発表やクラス内発表など，様々な形での積極的な参加が求められる。授業はリーディング課題を読んできたことを前提に進めていくので，必ず授業前にリーディング課題を読んでおくことが求められる。							その他特記事項	
								クォーター制科目で全8回（試験を含む）。初回から授業がスタートするため第1回の授業から必ず参加すること。 ・授業開始後10分以上経ってからの入室は欠席扱いとする。 ・授業終了前の退室は欠席扱いとする。 リーディング課題については，授業内で指示します。	
授業担当教員紹介			URL						
ホームページ・メールアドレス等			E-mail		satoryuji@adm.kanazawa-u.ac.jp				